

チーム えがお

【学校教育目標：たくましく生きる児童の育成】

・やさしい子 ・考える子 ・元気な子 ・やりぬく子



発行者：校長 岡田 達也

～ えがお かがやき かんばる 学校 うれんだん「チーム北川」～

3年生 期待膨らむ！「クラブめぐり」

22日(月)の6校時に、3年生は4年生から始まるクラブ活動を見学する「クラブめぐり」を行いました。「ふるさとたいけんクラブ」から始まり、「スポーツクラブ」、「イラストクラブ」、「いきいきせいかつクラブ」の順で見て回りました。どのクラブでも、高学年からクラブのおもしろさを聞いたり、少し体験させてもらったりしながら、来年度1年間楽しく活動できるように、どれにしようか悩みながら楽しく見て回りました。

クラブ活動は、学習指導要領(国が決めた教科等の目標と大まかな教育内容)では「特別活動」に位置付けられ、次のように示されています。

【目標】

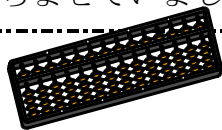
クラブ活動を通して、望ましい人間関係を形成し、個性の伸長を図り、集団の一員として協力してよりよいクラブづくりに参画しようとする自主的、実践的な態度を育てる。

【内容】

学年や学級の所属を離れ、主として第4学年以上の同好の児童をもって組織するクラブにおいて、異年齢集団の交流を深め、共通の興味・関心を追求する活動を行うこと。

クラブを見学した3年生の子どもたちは、「〇〇クラブにしようかな。」「〇〇クラブと□□クラブのどっちがいいかな。」と、一層悩みを深めたようでした。今後、子どもたちから希望を取り、各クラブの人数調整を行った後、決定していきます。第一希望のクラブに入ることができればいいのですが。

3年生の子どもたちは、「クラブめぐり」を通して、4年生から始まるクラブへの期待を大きく膨らませていました。



「そろばん」のフロから学ぶ!

昔から、「読み 書き そろばん」とよく言われます。これは、文字や文章を読むこと、文字や文章を書くこと、そして計算することが、基礎的な能力・学力として大切であるということを表す言葉です。現在の学校教育では、「読み 書き 計算」となります。「読む」とは相手の伝えたいことを正しく読み取ること、「書く」は自分の伝えたいことを正しく表現すること、「そろばん」とは数の仕組みを正しく理解し計算すること、と言えます。これらは、子どもたちにとって大切な「基礎学力」と言えます。



現在、学校では3年生と4年生に「そろばん」の学習が位置付けられています。具体的には、「そろばんによる数の表し方について知り、そろばんを用いて簡単な加法及び減法の計算ができるようにする。」とされ、「ア そろばんによる数の表し方について知ること。」「イ 加法及び減法の計算の仕方について知ること。」と、学習指導要領に明記されています。

これを受け、3年生は今週から、算数科の授業で、「珠算指導ゲストティーチャー」の方をお招きし、「そろばん」の指導を受けています。初日の22日は、「そろばん」のプロ3名が来校され、子どもたちを指導してくださいました。子どもたちは、そろばんを使うことに慣れていないため、いつもより集中して取り組んでいました。